

令和6年度事業報告

「日本の将来推計人口」によると、我が国の総人口は長期の減少過程に入っており、令和13年に人口1億2,000万人を下回った後も減少を続け、令和38年には1億人を割って9,965万人となり、令和52年には8,700万人になると推計されています。

こうした中、地域社会の課題解決の担い手として存在感を発揮する観点から、「介護予防・日常生活支援事業」、「シルバーママサービス」を推進するとともに、労働者派遣事業の運営においては、「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」の積極的な活用を通じて、次世代の生活、同年代の生活、人手不足に苦慮する企業等の下支えに貢献しました。

また、安全就業の徹底に向けた取り組みを強化した結果、賠償事故1件(前年度1件) 傷害事故3件(前年度5件)、車両事故0件(前年度0件)でした。

会員数については、全国的に会員が減少する中で、当センターにおきましては、第四次中期計画に基づいた地道な会員拡充を実施した結果、前年度からは10人増の425人となりました。

以下、令和6年度事業実施状況について報告いたします。

(1) 事業運営の健全化と組織体制の強化

公益社団法人として、公益性を重視した事業運営に徹し、公平・公正・透明性のある事業運営を推進しました。

また、多様なサービスを地域に提供できる存在として会員、役・職員の三者が一体となった事業運営を実施しました。

- ① センター組織の決定機関である理事会及び各部会、各委員会の積極的な活動を図り、事務局及び役員並びに会員との連携や情報の共有を密にし事業運営の円滑な推進を行った。
- ② 公益法人としての経営を視点においた職員の意識改革を図り、適正な役割分担のもとに協力して組織体制の構築を行った。
- ③ 県連合等が開催する研修会に積極的に参加し、知識・情報の習得を行った。

(2) 会員の増強

全国シルバー人材センター事業協会が設定した府中町シルバー人材センターにおける目標会員数410人を達成するため、「広報ふちゅう」等に広告を掲載しセンターのPRを実施しました。

- ① 入会希望者への就業機会の早期の提供を実施した。
- ② 女性会員の入会促進のために新たな管理業務等の就業機会の拡充を行った。
- ③ 入会説明会に参加できない方を対象に臨時の入会説明会を行った。
- ④ 会員のデジタル利用を促進するためスマートフォン講習会を行った。

(3) 普及啓発活動の強化と実践

普及啓発活動として、10月に「安芸府中シルバーだより43号」を町内全戸に配布し、町民にシルバー人材センター事業の普及啓発及びPR活動を行いました。

また、シルバーだよりで、会員就業場所の紹介を行いました。

- ① 歴史民俗資料館で「シルバー展」を開催した。
- ② 各種イベントへ参加しセンターの活動を周知した。
- ③ 会員に「事務局だより」を発行し、センターの情報提供を行った。

(4) 就業機会の開拓・確保

就業機会を創出し、受注の拡大を図るため職員が就業先に下見や作業確認を行った際には、パンフレットを活用し新たな就業の開拓を実施しました。その結果、前年度より契約金額が増となりました。

- ① 公共からの継続的な就業機会の確保を行った。
- ② 個別の就業相談を随時実施した。
- ③ 会員が「ロコミ」で就業開拓した。
- ④ 独自事業等を活用して、80歳を超えても活躍できる就業環境の創出を行った。

(5) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業の推進

高齢化や労働力人口が減少する中、現役世代の雇用環境向上のため、人手不足分野における派遣事業での就業機会の開拓を実施し、高齢者の活躍の場を

創出、高年齢者活用・現役世代雇用サポート事業に取り組みました。

- ① 町内の事業所を訪問して新たな派遣先を開拓した。
- ② 既存の発注先に派遣事業の情報の提供をした結果、新たな仕事を受注した。

(6) 安全・適正就業の推進

安全は全てに優先する重点課題であり、「安全就業対策推進実行計画」に基づき事故防止の徹底を実施しました。

「事故ゼロ」を目指しておりますが、賠償事故1件(前年度1件)、傷害事故3件(前年度5件)、車両事故0件(前年度0件)でした。

適正就業の推進については、ひとりでも多くの会員が就業できるように、引き続き長期就業の是正を図り、ワークシェアリングを実施しました。

- ① 安全パトロールを年4回実施した。
- ② 安全用具の貸与(空調服)及び熱中症対策用品を配布した。
- ③ 剪定・除草作業会員を対象に、安全作業に係るミーティングを行った。
- ④ シルバーママサービス就業会員を対象に救急救命講習会を実施した。
- ⑤ 適正就業基準要綱に基づき、ワークシェアリング及びローテーション就業を推進した。